

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

新地町立福田小学校（福島県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 児童の学習状況を瞬時に把握し、即時に学びをサポート

＜考察＞

第2学年算数科の「かけ算九九づくり」内での実践事例になる。

問題に取り組む際に、Googleのスプレッドシートを活用し、児童の現状（学び方・理解度）を把握できるように電子黒板に表示し、可視化している。常時表示することで、教師が児童一人一人の学びを即時にサポートできるようにしている。他の児童も見ることができるため、「教えてほしい・こまっている」が表示されている児童のところへ行き、学習のサポートをしている場面も見られた。（協働的な学習）

学び方や理解度を可視化することで、見取りやすくなり、個に応じた指導をしやすくなった。また、児童にとって、安心して学習できる環境にもなっていた。



電子黒板に学び方・理解度を表示し、可視化した状態で学習を進めている。

学び方で「友達と」を選択すると、児童が友達のところで考えを共有したり、話し合ったりする場面が見られた。



どんな場合においても、児童の学習状況を見取りながら指導しているが、今の自分の状況で「教えてほしい・こまっている」を選択した場合には、教師が学びをサポートし、安心して学ぶことができる環境を整えている。

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

新地町立福田小学校（福島県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 振り返りから児童の学びを見取り、次時の学習指導の工夫・改善を図る

<考察>

Googleのスプレッドシートを活用し、学習の振り返りをしている。振り返りの主な視点としては、以下の通りである。

○分かったこと

○できたこと

○学び方

（何を使って、誰と、どのように）

○次に向けて

以上の視点をもとにしながら、児童は学習の振り返りを行い、次時に向けて意識付けを図っている。また、振り返りに教師からのメッセージ（次時に気を付けることや取り組むこと、称賛の言葉など）を書き入れることで、次時への意欲付けにもなっていた。

振り返りの内容から、その学習でできたことやできなかったこと、難しかったことなどを教師自身が把握することができ、次時の学習の際に、個別指導が必要な児童の確認をしたり、学習指導の工夫（指導の見直し・教材研究）に役立てたりすることができた。



5～10分程度の振り返りの時間を確保し、Googleのスプレッドシートに記入している。学習のポートフォリオとしても活用することができ、家庭でも確認できるよさがある。

振り返り (わかったこと・できたこと) 次の学びに繋げるために！ (学び方・誰とどのように学習したか？)	先生からメッセージ！
先生が話した内容を聞き取ることが出来ました。また、友達と協力してどこの国のものなのか答えることが出来ました。	先生からのお願いをたくさん聞き取ることができましたね！先生のちょっとした言葉がみんなの学習を支えてくれますよ！ 先生
どこの国から来たのかを聞き取ることが出来ました。また、「it's from」を使い友達とゲームをすることが出来ました。	Unit1で習った「It's from～」を使いこなしていましたね！先生にすら言うことができるように、たくさん練習しようね！ 先生